

# 新居浜市辺地総合整備計画

(令和3年度～令和5年度)

新 居 浜 市

# 総合整備計画書

愛媛県新居浜市 保土野辺地

(辺地の人口 70人 面積 12.4k㎡)

## 1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 別子山保土野
- (2) 地域の中心の位置 新居浜市別子山保土野甲361番地
- (3) 辺地度点数 143点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

保土野地域は、新居浜市中心部から南東へ約3.6kmの山間地に位置し、民家は主に銅山川沿いの限られた平坦部に集中している。地域内の人口は、減少傾向にあり、合わせて高齢化率も約50%で、今後、生産年齢人口の増加が見込めない場合は、集落を維持していくことも困難となることが予測され、地域内の就業先確保が急務である。

このような状況の中、本地域内には、観光交流施設「森林公園ゆらぎの森」や木材加工施設「別子木材センター」などの事業所が所在しており、別子山地区の産業を担うとともに地区住民の就業の受け皿として地域の雇用を支えている。

しかしながら、「森林公園ゆらぎの森」は、開設から20年が経過し、厳しい気象条件も重なり、施設・設備の老朽化が顕著に見受けられることから、計画的な施設改修が必要である。さらに、本地域の豊かな森林環境や特産品を活用した誘客促進を図るため、観光交流施設を追加整備し、「森林公園ゆらぎの森」の新たな魅力創出も求められている。また、「森林公園ゆらぎの森」周辺は、高速通信が可能なブロードバンド環境が整っておらず、サテライトオフィスやワーケーション等に対応可能な情報通信環境の整備も課題となっている。

一方、昭和61年創業の「別子木材センター」は、工作機械等の老朽化に伴う生産効率の悪化と競争力の低下が顕在化しつつあり、早急な施設整備による地域森林資源の有効活用と地域産業の活性化が求められている。

こうした状況を踏まえ、地域内に所在する「森林公園ゆらぎの森」、「別子木材センター」の整備を行うことで、本地域の雇用の拡大と産業の振興、さらには地域間交流及び移住・定住の促進による地域の活性化が期待できる。

## 3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和5年度までの3年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
ゆらぎの森施設	新居浜市	80,000		80,000	80,000
観光交流施設	新居浜市	300,000		300,000	295,000
地域情報化施設	新居浜市	16,000		16,000	16,000
別子木材センター	有限会社 別子木材センター	250,000		250,000	250,000
合計		646,000		646,000	641,000